



## ケンジー 認知症当事者の方のお話ken'zさん

かながわオレンジ大使として活躍している ken'z こと松浦謙一さんにお話を伺いました。

### 【認知症の始まりと今の活動】

62歳の時、妻が病院に相談したことがきっかけで検査を受けレビー小体型認知症と診断されました。初期段階で発見でき、早期に治療を開始できたことが今につながっているのではないかと考えています。

認知症の初期段階で、できることも多い自分だからこそ発信すべきだと思い、ブログやフェイスブックで認知症であることを公表し、日々感じることを率直に発信することを始めました。また、バンドを立ち上げ音楽活動やトークライブなどを行っています。

### 【コロナ禍での状況】

外で働いている妻に迷惑をかけてはいけないと思い、去年はほとんど家の中にいる生活をしていました。妻以外の人と話さなくなったことで認知症の症状が進んだと感じています。具体的には、時計の針でいう3時方向と9時方向がごちゃまぜになってしまうということがありました。終わりが見えないことが一番つらいです。

このままではいけないと思い、去年10月頃からオンラインゲームを介してボイスチャットで積極的に他者と話すようにしています。

### 【地域の人へのメッセージ】

皆さんには、認知症を正しく理解してほしいと思っています。認知症の症状は、多様で段階があります。「認知症＝何もできない」と思い込まないでほしいです。

一方で認知症の人が店でお金を払うこと自体を忘れてしまい、結果として万引きとして警察に逮捕されてしまう「万引き問題」というものがあります。もし、お店の人が認知症の方のことを知っていたならば、警察沙汰にまでにはならないこともあるのではないのでしょうか。難しい問題ですが、お店や町内の人にご認知症を理解してもらうかが課題だと思います。そして認知症になったとしても、周囲に自分が認知症であると言いやすい社会になればいいと思っています。

< 普段の外出の様子 >



< ken'z のブログ >

レビー小体型認知症とパーキンソン病 <https://pilialoha.biz/keng/>

< ken'z の facebook >

レビー小体型認知症と付き合う <https://www.facebook.com/kenG.yokosuka/>